



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名:マイマイカブリ基亜種

学名: *Carabus blaptoides blaptoides*

「マイマイ」とはカタツムリのことです。マイマイカブリが、カタツムリの殻に頭を突っ込んで食べることを「カタツムリを頭にかぶる」と表現したという説と、「カタツムリにかぶりついて食べる」ことから名付けられたとも言われます。カタツムリを見つけると、大顎でかみついて消化液を注入し、とけた筋肉を食べます。普段は餌を求めて地表を歩き回っています。また、夏には樹液に来ることもあります。

マイマイカブリはオサムシの仲間ですが、頭部と前胸がカタツムリを食べやすいように細長くなっています。オサムシとしては大型で、このような体型のオサムシが限られること、日本特産であることから、海外でも人気のある甲虫です。オサムシの仲間は、攻撃されると刺激性の液体を噴射するので、素手でつかむことは避けた方がいいでしょう。

後翅が退化し、さらに上翅も左右が融合して飛ぶことができません。そのため、地域ごとに特徴が異なり、8亜種に分けられますが、隠岐の島を除く西日本にいるものはマイマイカブリ基亜種で、大型で全体が黒く、翅端が鋭くとがりますが、他の亜種では、体の一部が、緑や紫、青を帯びているものや、翅端があまりとがらないものなど特徴が異なり、分布する地域が近い亜種ほど交配しやすく、離れた地域の亜種同士では交配できないなど、種が分化しつつある昆虫でもあります。

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

